

学校だより

令和3年6月23日

直方市立感田小学校

校長 右田 清二

緊急事態宣言解除されました！

今週より、緊急事態宣言が解除され、福岡県は、福岡市、北九州市、久留米市が、まん延防止等重点措置に移行されました。これを受け、本校では、6月後半に予定していた4年生の北九州市への社会見学が延期になりました。しかし、放課後の運動場や体育館の貸し出しは、再開されるようになりました。そして、6年生の修学旅行は、再度延期し、7月中旬に実施するようにしています。

新型コロナウイルス感染症の状況により、子どもたちへの教育内容に影響が出ています。こんな状況の中、「学校だより」で紹介しました「ギガスクール構想」により、一人一台のタブレットが行き渡りました。これにより、授業の風景が変わりました。タブレットを活用する授業では、どこかのオフィスのように全ての机の上にタブレットがおかれています。子どもたちは、先生の質問や自分で分からない事柄、興味のある内容など、一人一人に合った課題を自分のペースで調べ、授業を進めています。今後、学習内容に沿ったソフトも導入されます。私たち教員も、最新の情報収集や機器の研修をしっかりと行い対応していきたいと思っています。



水難事故に気をつけましょう！

今から66年前の1955年に、学教教育現場で、2つの水難事故がありました。これを契機に、学校の体育で水泳の授業が取り入れられたそうです。当初の水泳授業の目的は、水難事故から命を守る教育としてスタートしたと言われています。しかし、近年の水泳授業は、泳法が中心になり、そして昨今は、コロナ禍でプール授業さえもままならない状況です。子どもたちを水難事故から身を守る機会が、さらに失われています。この状況の中、日に日に暑さが増し、水辺が恋しい季節となっています。毎年、この時期に子どもの水難事故のニュースが後を絶ちません。水難事故防止に対して、保護者の皆様に以下のことについてご注意のほど、よろしくお願いします。



〈海や川での安全対策〉

- ・子どもが水遊びする場合は、大人がそばに付き添う。
- ・水辺を訪れる時は泳ぐ予定がなくても、ライフジャケットを身につけさせる。
- ・保護者が先に危険箇所を確認し、安全な場所で遊ばせる。

〈プールでの安全対策〉

- ・体調の悪いときは、プールに入れない。
- ・定期的に上がって休憩させる。
- ・子どもから目を離さない。浅い場所でも油断をしない。
- ・走ったり飛び込んだりしないよう、ルールを守らせる。

〈身近な水辺での安全対策〉

- ・遊びに行くときは必ず保護者の許可をとらせる。
- ・子どもの行動範囲にある水辺を保護者が把握しておく。
- ・「子どもだけで遊びに行っては行けない場所」はルールをつくって明確にしておく。
- ・水の中に落とし物をしたときは、子どもがとるのではなく、大人を呼ぶようにする。
- ・保護者が居るときでも、水に近づきすぎないように近くで見守る。

セコム子どもの安全ブログより

芋植え作業、保幼小交流会！

6月の初めに、1年生が芋の苗植えを行いました。昨年より学習指導要領の改訂により、全学年で行なわれていた芋植え、芋掘りは、1年だけで行うようになりました。晴天に見舞われ、暑い中でしたが、感田校区社会福祉協議会やPTAの皆様のご協力により、芋の苗を植えることが出来ました。子どもたちは、芋植えの説明を聞きながら、慣れないスコップを握りしめ、作業にあたりました。今後、草取りや水やりなどしながら、秋の芋掘りへと繋げていきたいと思えます。暑い中、感田校区社会福祉協議会、PTAの皆様、ありがとうございました。

また、5年生は、今週から感田校区の保育園、幼稚園との交流活動が始まりました。学校の中で、4、5人のグループに分かれ、園の子どもたちを楽しんでもらえる遊びをするために、遊具を作成したり、園児に贈る景品をつくったりと一生懸命に準備をしました。まず、最初に交流した浄福寺幼稚園では、園児を気遣う5年生とうれしそうに付いて遊ぶ園児の様子を見ることが出来ました。園児に対して、最初は恥ずかしそうに遊びのルールを説明していましたが、交流の終わりに近づいたころには、堂々と説明する姿がありました。僅かな時間で、子どもの成長を見ました。